

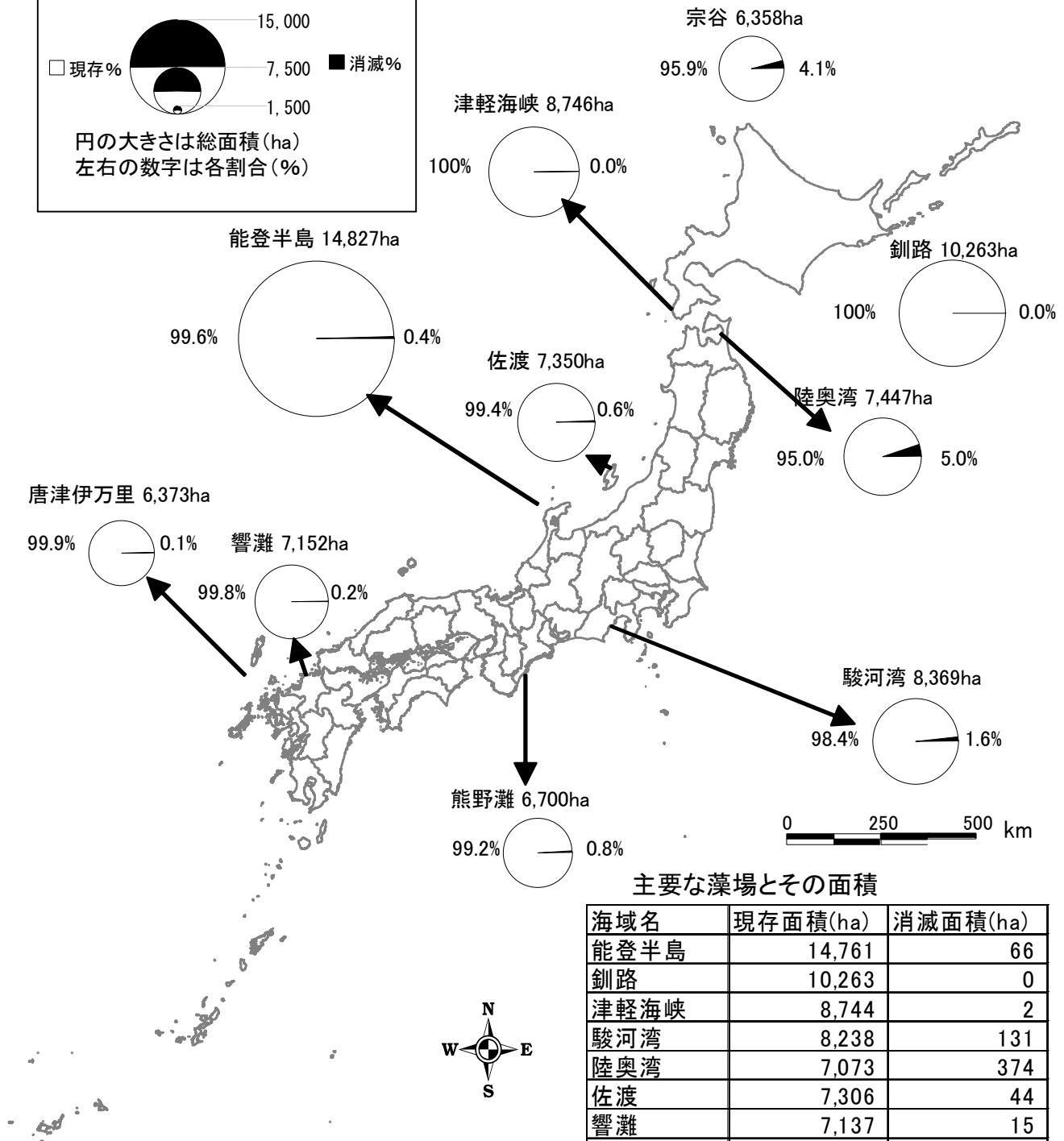
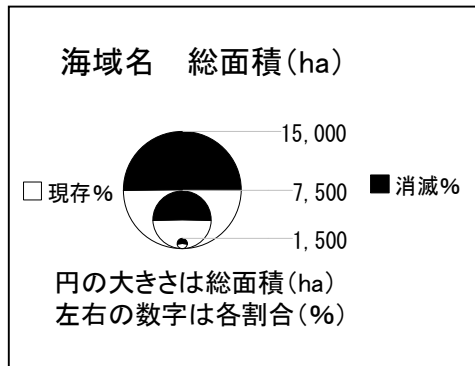
資料 2-4

第5回自然環境保全基礎調査(H4年)における全国の干潟(浅海域内外)面積の合計は49.380haであった。
第2回調査(S53年)以降5.920haの干潟が消滅した。



主要な藻場の分布状況と面積の推移

第4回自然環境保全基礎調査(H4年)における全国の藻場面積の合計は201,212haであった。第2回調査(S53年)以降6,403haの藻場が消滅した。

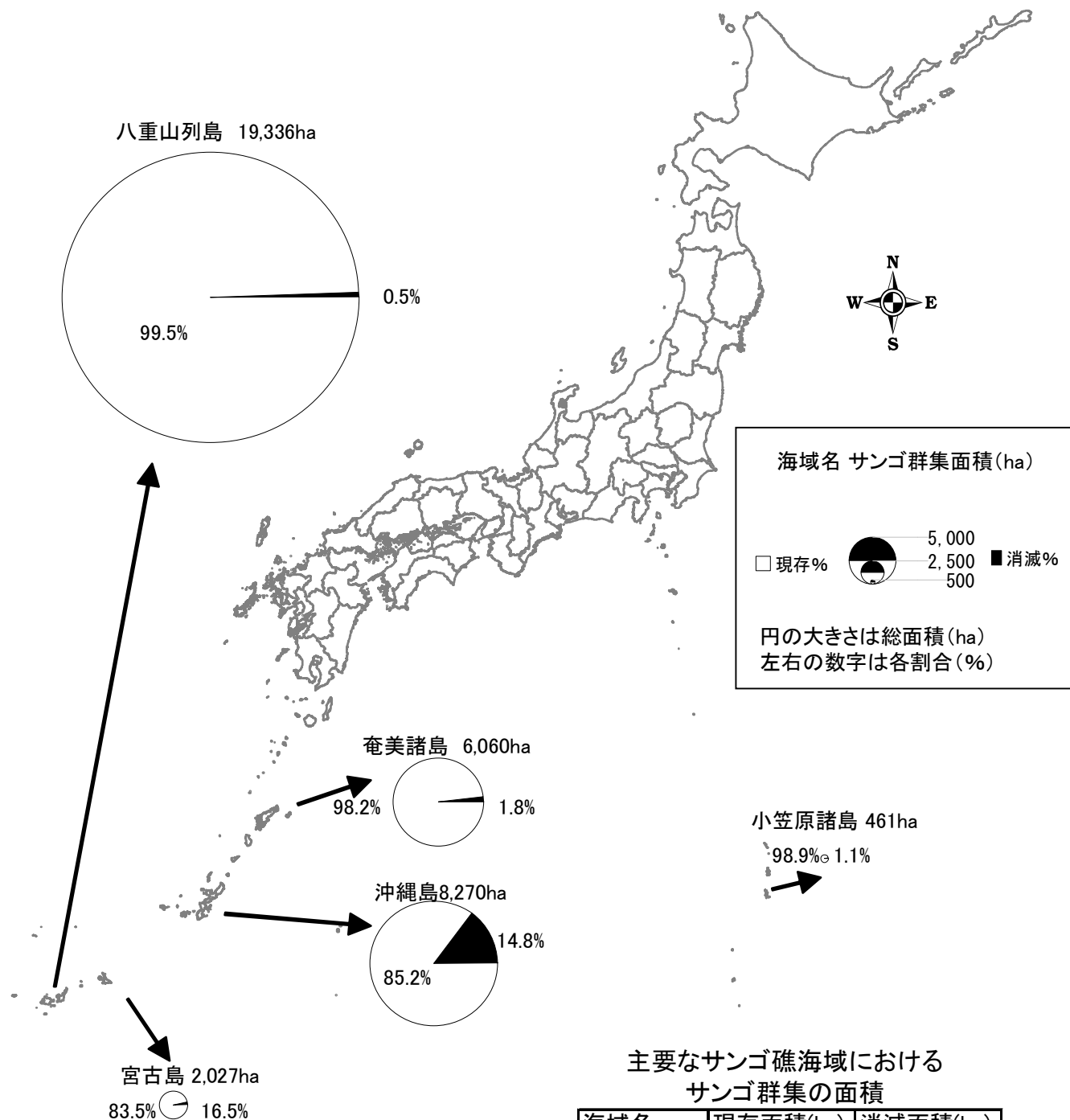


主要な藻場とその面積

海域名	現存面積(ha)	消滅面積(ha)
能登半島	14,761	66
釧路	10,263	0
津軽海峡	8,744	2
駿河湾	8,238	131
陸奥湾	7,073	374
佐渡	7,306	44
響灘	7,137	15
熊野灘	6,646	54
唐津伊万里	6,366	7
宗谷	6,100	258

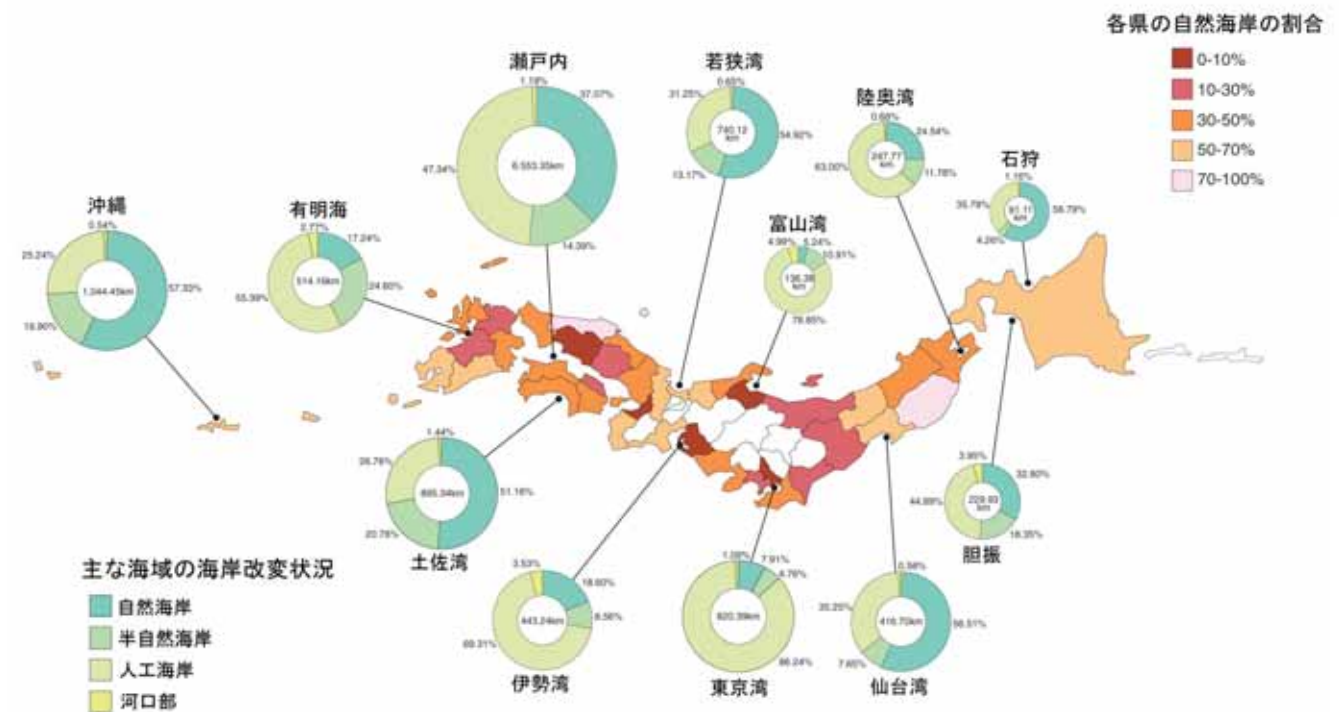
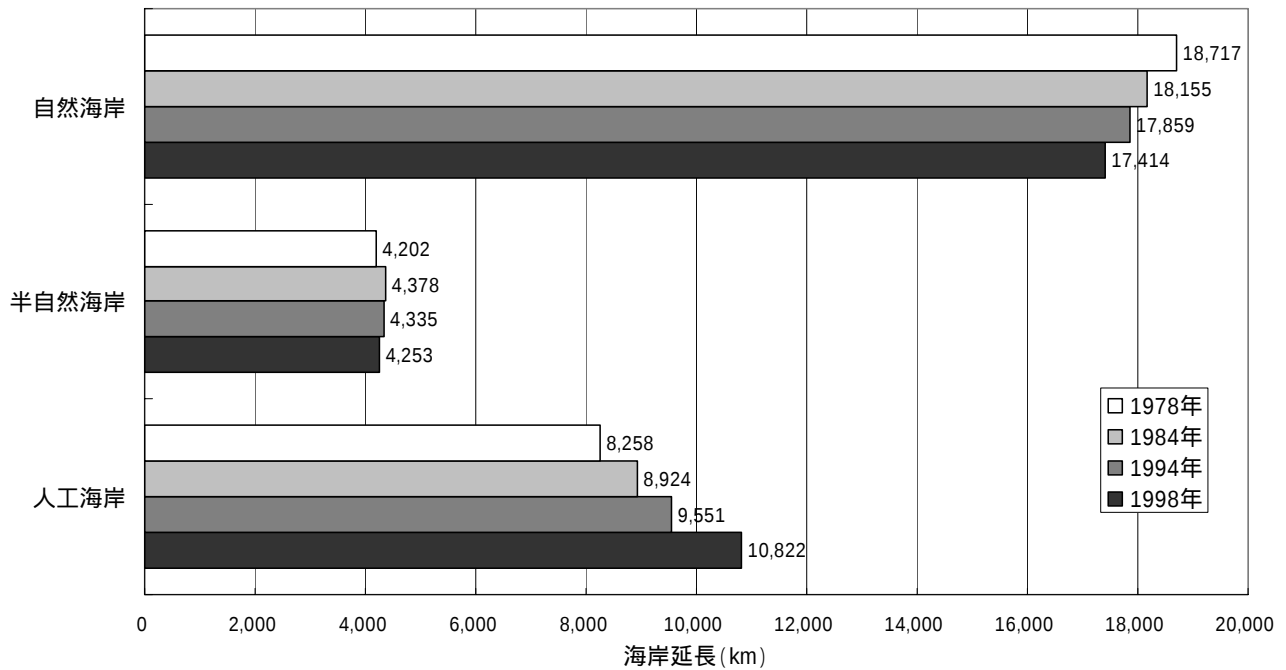
主要なサンゴ礁の分布状況と面積の推移

第4回自然環境保全基礎調査(H4年)において確認された、地形としてのサンゴ礁の総面積は96,479haであった。また、サンゴ群集の面積は34,642haで前回調査時(S53年)以降1,512haのサンゴ群集が消滅した。



自然海岸の推移

1978年～1998年までの海岸改変状況の変化



1998 年時点（第 5 回自然環境保全基礎調査）での海岸の現状

出典：第 2,3,4,5 回自然環境保全基礎調査